

愛知県におけるデータ連携基盤共同利用に関するビジョン

本ビジョンは、同一機能を有したデータ連携基盤（以下「基盤」という。）への重複投資及びそれらの基盤の乱立を抑制することを主な目的として策定するものである。

愛知県（以下「本県」という。）内において構築済みの基盤及び当該基盤において扱うデータの分野は、別紙１に記載のとおりである。

今後、別紙１に記載の分野に関して、本県内の市町村が基盤の新規利用を検討する際は、既存の基盤（他の都道府県内のものを排除しない。以下同じ。）を共同利用することを基本として、本県が主導し関係自治体間の調整等を行う。なお、本県及び基盤の新規利用を検討する市町村（以下「新規利用市町村」という。）において、無理な共同利用が弊害を生む等の理由により新規構築が適切と判断した場合は、新規利用市町村において所要の対応を行うとともに、必要に応じて相互連携が適切に行われるよう検討する。

また、別紙１に記載の分野とは異なる分野に関して、本県内の市町村が基盤の新規利用を検討する際は、本県及び新規利用市町村において、既存の基盤の共同利用の可能性について検討し、新規構築が適切と判断した場合は、新規利用市町村において所要の対応を行うとともに、必要に応じて相互連携が適切に行われるよう検討する。

なお、本県が基盤の新規利用を検討する際の扱いは、これに準ずるものとする。

１．基盤の現況

別紙１に記載の基盤の概要は、別紙２のとおり。

２．考慮事項

- （１）本県内の市町村が基盤の新規利用を検討する際は、その検討内容について、本県へ連絡することとする。
- （２）本ビジョンは今後の状況変化を踏まえ、必要に応じて見直すものとする。

３．当面の対応スケジュール想定

2025年度以降　　基盤の新規利用を検討する際は、本ビジョンに則り、共同利用及び相互連携の可能性についても検討を行う。